

今週のコメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.93で、過去5年平均値(0.68)を上回っています。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は0.59で、過去5年平均値(0.14)を上回っています。行政区別では、西京区が多く、全市の45.8%を占めています。
- ・ 突発性発しんの定点当たり報告数は0.51で、過去5年平均値(0.47)を上回り、本年度で最も多い報告数です。年齢階級別にみると、すべて3歳以下の報告で、なかでも0歳児が全体の52.4%を占めています。
- ・ 腸チフスの報告が1例で、平成20年度(平成20年4月以降)では初めての報告です。平成20年1月からの累積報告数は、2例です。(第17週分)

今週のトピックス:<パラチフス,腸チフス>

- ・ 第16週から第17週にかけ、パラチフス2例と腸チフス1例の報告があります。詳細を、トピックスに掲載しています。

発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 2例(喀痰塗抹陽性2例,無症状病原体保有者 なし)
【1月以降の累積報告数 87例(喀痰塗抹陽性 28例,無症状病原体保有者 7例)】
- ・ 三類:腸チフス1例(第17週分)【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 三類:パラチフス2例(第16,17週分)【1月以降の累積報告数 2例】(再掲)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68,小児科定点41,眼科定点10,基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.40	27
小児科 (降順5位まで)	感染性胃腸炎	6.34	260
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	38
	手足口病	0.59	24
	突発性発しん	0.51	21
	水痘	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

ありません。

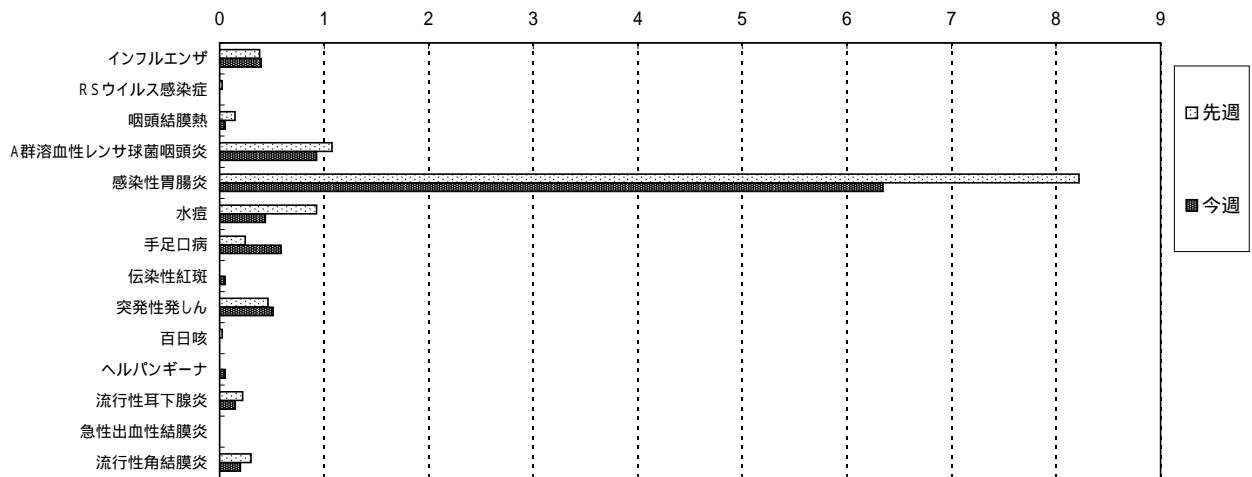
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<パラチフス,腸チフス>

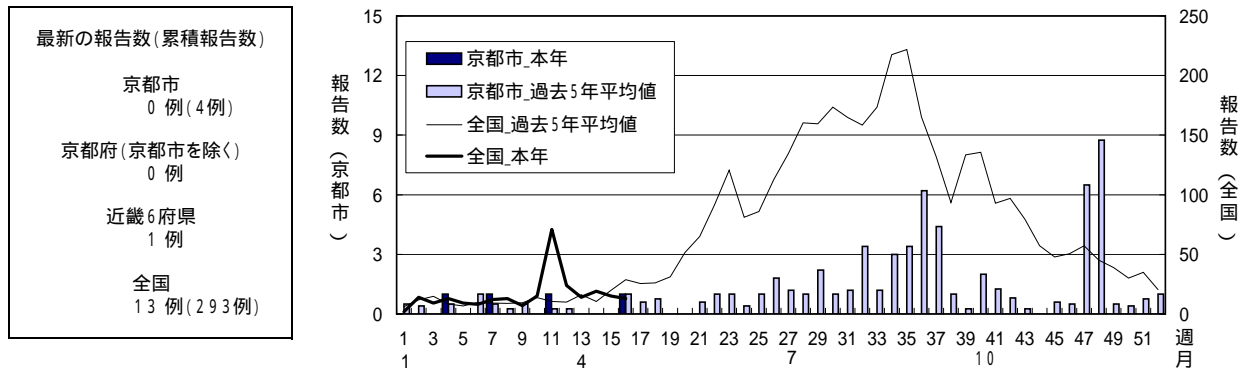
(注)京都市のデータは、平成20年4月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

発生状況の概況グラフ

1 今週(第16週)と先週(第15週)の定点当たり報告数の比較

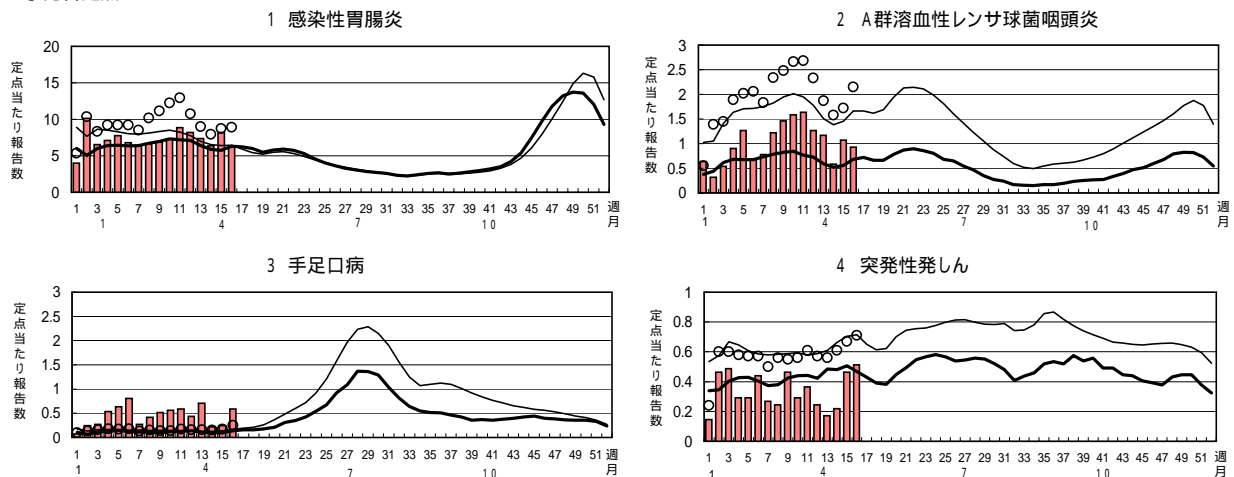


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

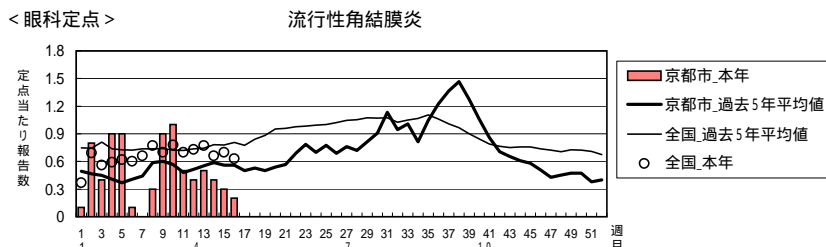


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第16週)のトピックス: <パラチフス, 腸チフス>

第16週から第17週(診断週)にかけ,パラチフス2例と腸チフス1例の報告があります。

パラチフス, 腸チフス共に, 京都市内で報告されるのは, 平成17年以来のことです。

今回の推定感染地域はいずれも海外で, パラチフスの2例はインド及びインドネシア, 腸チフスの1例はインドです。

「感染症法」が施行された平成11年4月以降, 京都市で, 現時点までに報告されているパラチフスの報告数は9例, 腸チフスの報告数は13例です。

これらの詳細をみると, パラチフスでは, 推定感染地域はすべて海外で, 年齢階級は20歳代が5例と最も多くなっています。

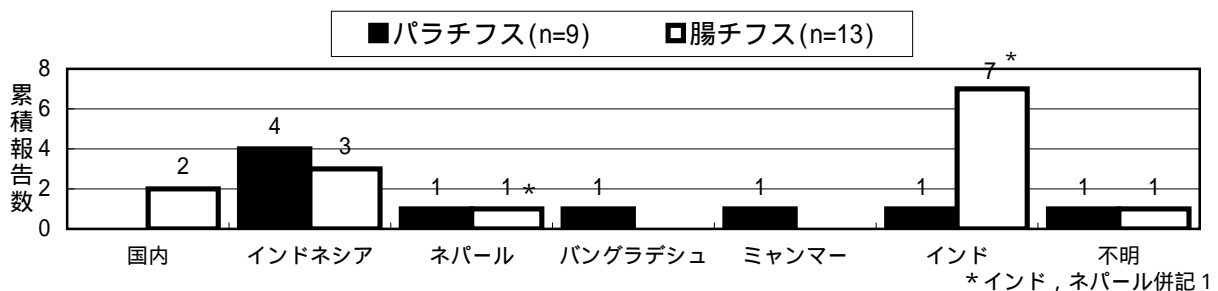
腸チフスでは, 推定感染地域は13例中11例が海外で, 年齢階級は20歳代が11例と最も多くなっています。

パラチフス及び腸チフスには, 抗菌薬の投与による治療が行われますが, 現在, 第一選択薬として用いられているニューキノロン系抗菌薬に対して, 薬剤耐性菌及び低感受性株の分離が報告されており, 分離菌株の薬剤感受性試験を行ってから治療を始めることが必要となってきています。この薬剤耐性菌の詳細等については, 感染症情報センターのホームページ(IDWR「感染症の話」http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_05/k02_05.html)に掲載されています。

報告年別・性別 報告数の推移

	パラチフス				腸チフス			
	京都市			全国	京都市			全国
	男性	女性	計		男性	女性	計	
平成11年(4月以降)	-	-	-	30	-	-	-	72
平成12年	-	-	-	20	2	-	2	86
平成13年	-	-	-	22	-	-	-	65
平成14年	2	1	3	35	-	-	-	63
平成15年	-	-	-	44	2	3	5	62
平成16年	3	-	3	88	2	1	3	67
平成17年	1	-	1	20	1	-	1	50
平成18年	-	-	-	22	-	-	-	58
平成19年	-	-	-	22	-	-	-	47
平成20年(~第17週) * 全国データは第16週まで	1	1	2	7	2	-	2	14

推定感染国別 累積報告数(平成11年4月~平成20年第17週)



年齢階級別 累積報告数(平成11年4月~平成20年第17週)

